

6月23日（木）やさしい日本語

おおいたけん にほんごがっこう うんえい
大分県で日本語学校を運営して
いるおのくみこさんの話を紹介
します。おのがっこうのせいと
しゃかいじん けんない だいがく りゅうがくせい
社会人や県内の大学の留学生で
す。なかには、せんそうで、じぶんくに
逃げてきた人もいたそうです。

おのさんは、がいこくじんはな
小野さんは、外国人と話ときは、やさしい日本語を使う
ことをすすめています。たとえば『生年月日は？』と聞かれて
りかいできないなかったがいこくじん たんじょうび
理解できなかった外国人に、『誕生日はいつですか』と質問
すればこたえられたこともあるようです。

「やさしい日本語」のコツは、「ハサミ」だそうです。

ハ あいまいなひょうげんを使わずに「はっきり」言う

サ 文の「さいご」まできちんと言うこと。

ミ 一文を「みじか」して言うこと。

やさしい日本語のコツ、ハサミ。これは、にほんじんどうし
大事なことだと、こうちょうせんせいおも
校長先生は思いました。はっきりと、さいご
まで、みじかに言う。ともだちはなさんこう
友達と話するときの参考にしてもらいたいで
す。

村越 新

やさしい日本語のコツ

1 はっきり言う
例) 行かないわけじゃない⇒行きます

2 さいごまで言う
例) エアコン?⇒エアコン消します。いいですか?

3 みじかく言う
例) 明日は給食がないのでお弁当を持たせてください
⇒あしたは、給食がありません。お弁当をお願いします。

※小野さんの資料から作成